

理工学研究科（理学系）

【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

理工学研究科（理学系）は、種々の分野で先端科学技術を将来にわたり維持し発展させるために、広範な基礎学力に基づいた高度の専門知識と能力を備えた、柔軟で独創性豊かな科学者・技術者の養成を目的としています。

博士前期課程

（理学専攻）

博士前期課程では、専門とする分野の深い知識と技能とともに、幅広い理学の知識を兼ね備え、異なる分野の知識や研究成果を総合して新たな理論や技術を生み出す人材を養成し、科学技術の社会的利用において不可欠となる情報セキュリティ、知的財産、法令順守、安全衛生管理に関する確かな理解を持ち、優れた社会性と倫理性を備えて、科学技術の発展に貢献する人材を育てることを目標としています。

博士前期課程の求める学生像は以下のとおりです。

◆求める学生像

- 理学の基礎学力を有し、自然の真理の探究に強い意欲を持てる人
- 急速な社会の変化と科学技術革新に対応する意欲を持つ人
- 研究、技術開発、教育等によって社会に貢献することを目指す人

◆入学者選抜の基本方針

上記の求める学生像で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

- （1）一般入試（口述試験及び面接、志望理由書、TOEIC® TEST 成績証明書及び出身大学から提出された成績証明書の結果を総合して判定）
- （2）社会人入試（口述試験及び面接、志望理由書、出身大学から提出された成績証明書の結果、研究計画書（研究希望調書）及び業績報告書を総合して判定）
- （3）外国人留学生入試（口述試験及び面接、志望理由書、出身大学から提出された成績証明書の結果を総合して判定）
- （4）推薦入試【A推薦】（志望理由書、成績証明書及びTOEIC® TEST 成績証明書の審査結果を総合して判定）
- （5）推薦入試【B推薦】（口述試験及び面接、志望理由書、成績証明書並びにTOEIC® TEST 成績証明書の審査結果を総合して判定）

博士後期課程

（地球共生圏科学専攻）

博士後期課程では、人間の諸活動と自然環境との調和の観点に立ち、自然科学の深い知識と学際・複合領域における高度で先端的な知識を教授し、柔軟な総合力と独創性豊かで高度な自然科学の研究能力を備えた人材を育てることを目標としています。

博士後期課程の求める学生像は以下のとおりです。

◆求める学生像

- 理学的な基礎学力を有し、自然の真理の探究に強い意欲を持てる人

- 急速な社会の変化と科学技術革新に対応する意欲を持つ人
- 人間の諸活動と自然環境との調和に関心を持ち，研究目的と研究方法について独自に設定する意欲のある人

◆入学者選抜の基本方針

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため，以下の方法により選抜します。

- (1) 一般入試（口述試験及び書類審査の結果を総合して判定）
- (2) 社会人入試（口述試験及び書類審査の結果を総合して判定）
- (3) 外国人留学生入試（口述試験及び書類審査の結果を総合して判定）